

## 京葉銀行のコミュニケーションシンボル



「**A**」の文字が描く重なりと上方へ伸びてゆくラインは、人と人との“きずな”と、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。

コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、“人とのきずなを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい”  
“常に皆さまにプラスアルファを提供し続ける銀行でありたい”  
そんな京葉銀行の思いをあらわしています。

# 2019

## ミニディスクロージャー誌

2019年3月期  
営業のご報告



## LINE@ 京葉銀行 公式アカウント

@keiyobank ぜひお友だち登録してくださいね!  
楽しいコンテンツやLINE限定の特典も!

LINEアプリで公式アカウントを検索  
京葉銀行



## 京葉銀行

本店 〒260-0015  
千葉市中央区富士見1-11-11  
千葉みなと本部 〒260-0026  
千葉市中央区千葉港5-45  
TEL. 043(306)2121  
<https://www.keiyobank.co.jp/>



2019年6月発行



# ACTION PLAN 2021

～さらなる飛躍～

計画期間 2018年4月～2021年3月

基本方針(スローガン) | 「お客さま・従業員の満足度No.1の銀行」

基本戦略

- 1 **お客さまに寄り添った営業の実践**  
事業性評価による中小企業向け貸出強化  
ソリューションビジネスの強化  
住宅ローンビジネス・資産形成ビジネス・相続ビジネスの展開
- 2 **オムニチャネルの構築**  
次世代型店舗等の対面チャネルの充実  
ICTを活用した非対面サービスの強化
- 3 **全従業員が活躍するプロフェッショナル集団への変革**  
多様なキャリア形成・能力開発への取り組み  
働き方改革の推進
- 4 **ローコストオペレーションと利益拡大**  
BPRとデジタル化の推進  
営業体制の見直しと成長エリアの強化

計数目標

2021年  
3月期



目指す  
銀行像

お客さまに信頼と利便性、高い満足度を提供できる魅力のある、活力あふれる銀行

## 当行のプロフィール

名 称 / 株式会社京葉銀行	預 金 / 4兆5,584億円
英 文 名 称 / The Keiyo Bank, Ltd.	貸 出 金 / 3兆6,133億円
設 立 / 1943年3月31日	自己資本比率 / 単体 10.78% (国内基準) 連結 10.78%
資 本 金 / 497億円	格 付 / A-(S&Pグローバル・レーティング) A+(株式会社日本格付研究所)
本 店 / 千葉市中央区富士見1丁目11番11号	拠 点 / 店舗 122ヵ店 (本支店: 120ヵ店 出張所: 2ヵ店)
千葉みなと本部 / 千葉市中央区千葉港5番45号	外貨両替出張所 4ヵ所
従 業 員 / 2,010名	店舗外ATMコーナー 158ヵ所
総 資 産 / 4兆8,907億円	(2019年3月31日現在)

## Contents

第18次中期経営計画	2	2019年3月期 業績のご報告(単体)	13
トップメッセージ	3	財務諸表(単体)	15
SDGs(持続可能な開発目標)の推進	5	株主の皆さまへ	16
地域活性化のために	6	株式情報・役員	17
さらなる発展へ向けて	9	店舗・本部地図	18
持続可能な社会を目指して	11		



# トップメッセージ

## はじめに

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、「ミニディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご案内を申し上げます。ご高覧の上、当行に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

日本経済は、世界的な景気に対する不透明感が高まっているものの、足元では雇用・所得の改善が続くなかで、今後も緩やかな回復基調が続くと期待されています。一方で、地域金融機関を取り巻く経営環境は、人口の減少や少子高齢化の進展などに加え、低金利政策の長期化により、厳しさを増しております。

このような環境下、当行は、第18次中期経営計画「 $\alpha$  ACTION PLAN 2021」を推進しており、本年度は計画の中間年度となります。計画の基本方針に『お客さま・従業員の満足度No.1の銀行』を掲げ、以下の4つの基本戦略に取り組むことで、経営環境の変化にも揺るがない、持続可能なビジネスモデルの構築を実現してまいります。

取締役頭取

熊谷俊行

## お客さまに寄り添った営業の実践

法人のお客さまが抱える経営課題に対して、最適なソリューションを提供すべく、本年4月に「株式会社京葉銀キャピタル&コンサルティング」を設立いたしました。外部専門家との連携を強化することで、質の高いコンサルティングを実施し、事業承継支援などに取り組んでまいります。また、個人のお客さまに対しては、顧客本位の業務運営を徹底し、現役世代の資産形成サポートや、金融資産の世代間移転の支援の取り組みを強化いたします。引き続き、付加価値の高いサービスの充実に努めるとともに、お客さまに寄り添った営業を実践してまいります。

## オムニチャネルの構築

多様なお客さまニーズへの確に対応するため、当行ではオムニチャネル化を推進しております。非対面チャネルは、Webで完結するローン商品を拡充するなど、ICTを積極的に活用したサービスの充実に努めるほか、フィンテック企業との連携も強化してまいります。対面チャネルにおいては、伝票等のご記入不要でお手続きができる「対話型カウンター」の対象業務を拡大し、お客さまの待ち時間短縮や負担軽減を図ることで、当行の質の高いコンサルティングサービスを実感いただける店舗づくりに取り組んでまいります。

## 全従業員が活躍する プロフェッショナル集団への変革

お客さまへ「プラスアルファ」の付加価

値を提供できるよう、従業員の多様なキャリア形成を支援し、専門的な知識や技術、経験を持つ「プロフェッショナル人材」の育成に努めてまいります。また、ダイバーシティと働き方改革の推進により、従業員のワークライフバランスの実現を図るとともに、従業員一人ひとりが働きがいを持って仕事に取り組むことのできる職場環境を整備し、生産性の向上に取り組んでまいります。

## ローコストオペレーションと 利益拡大

お客さまの利便性向上を図りつつ、各種お申込み手続きのペーパーレス化などにより、業務の効率化を加速してまいります。また、営業店事務の合理化を推進することで、事務職から営業職への人員転換を進めるとともに、効率的な店舗戦略を展開することで、お客さまとの接点の強化を図り、ローコストオペレーションの徹底と、利益拡大に向けた取り組みを強化してまいります。

こうした取り組みに加えて、「環境・社会・ガバナンス」(ESG)の充実と、国連が提唱する「持続可能な開発目標」(SDGs)を意識した経営を実践いたします。特に、コンプライアンスについては経営の最重要課題のひとつであると認識しており、コンプライアンス態勢の一層の強化に努めてまいります。すべてのステークホルダーの皆さまからの信頼、ご期待にお応えできるよう、京葉銀行グループの役職員一同全力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月



# SDGs(持続可能な開発目標)の推進

## SDGsに対する当行の姿勢

地域への貢献を重要な使命と位置づけ、地域社会とともに豊かになるよう努めています。当行がこれまで取り組んできたことは、SDGsの趣旨にも通じており、これからも引き続き、地域社会の発展に貢献するとともに、すべてのステークホルダーの皆さまの期待にお応えできるよう企業価値の向上に努めることで、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

## TOPICS

### SDGs(エスディーゼーズ)ってなんだろう?

人類は、貧困、紛争、テロ、気候変動、資源の枯渇など、数多くの課題に直面しています。このままでは、安定してこの世界で暮らし続けることができなくなってしまう…そんな問題意識から、国連において、すべての人々にとってより良い世界をつくるために課題を整理し、採択された「2030年までの達成を目指す17の目標」が、「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」です。



# 地域活性化のために

地元千葉県とともに豊かになり、地域のお客さまにとって一番身近な銀行となるべく、さまざまな取り組みを通じて、地域活性化に貢献しています。

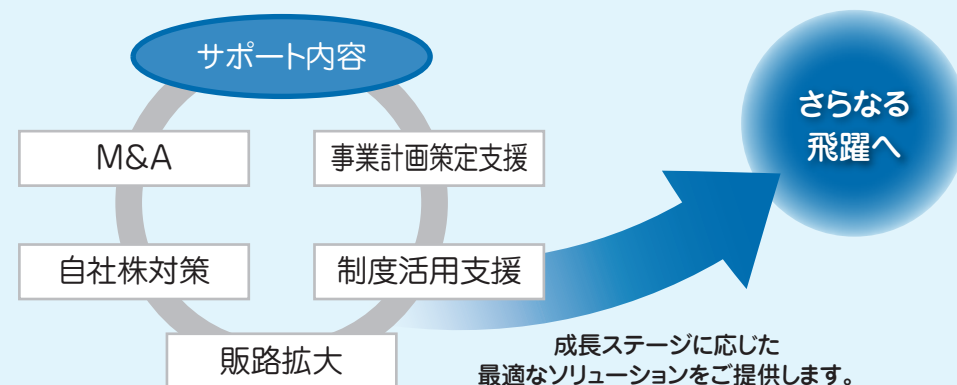


## 子会社の設立

2019年4月、当行グループ一体でお客さまの多様なニーズや経営課題に対して、最適なソリューションを提供し地域経済の発展に貢献するため、子会社を設立しました。

名称	株式会社京葉銀キャピタル&コンサルティング
設立日	2019年4月1日
代表者	代表取締役 齊藤 嘉茂
所在地	千葉市中央区千葉港5番45号(京葉銀行千葉みなと本部内)
従業員数	5名
資本金	5,000万円
出資比率	京葉銀行100%出資
事業内容	① 投資事業有限責任組合(ファンド)の運營業務 ② 経営コンサルティング業務 ③ M&A業務

京葉銀キャピタル&コンサルティングは、お客さまと経営課題を共有し、寄り添いながら課題解決からアフターフォローまでしっかりサポートします。



## 子会社のファンド運營業務の参入

2015年度から、香取市や地域経済活性化支援機構(REVIC)等と組成した「千葉・江戸優り佐原観光活性化ファンド」を活用し、歴史的資源による地域活性化を推進しております。

2019年4月25日、京葉銀キャピタル&コンサルティングは、本ファンドの運營業務に参入しました。



## 新たに古民家宿泊施設(GOKO棟)がオープン

ファンドの投資案件として設立した株式会社NIPPONIA SAWARAが歴史的建造物「佐原商家町ホテルNIPPONIA」を2018年3月にオープンさせ古民家宿泊施設として活用しています。

2019年4月、古民家宿泊施設が新たに3棟4室(GOKO棟)オープンし10棟13室に拡大しました。



## 創業個別相談会の実施

創業を予定している方や創業間もない方に対し、千葉県産業振興センターと連携して、個別に相談できる機会を提供しています。

2017年8月から2019年3月までに27回開催し145名のご相談にお応えてまいりました。



## 事業承継税制等各種セミナーの開催

お取引先企業の皆さまを対象に、「事業承継税制セミナー」「医療セミナー」「インバウンド集客セミナー」などお役に立てるようなさまざまなセミナーを外務専門機関と連携して開催しています。



## NTT東日本との業務提携

2019年1月、当行が有する地域のネットワークとNTT東日本が有する情報技術を活用して地域経済に貢献するため業務提携しました。

お取引先企業が抱える経営課題について、NTT東日本と連携して最適なICTソリューションを提供してまいります。



## いすみ市との官民連携

2019年5月、いすみ市の地域活性化に貢献するため、当行は、NTT東日本およびいすみ市と3者で連携協定を締結しました。主に農業・漁業・観光などの分野における事業活動を支援してまいります。



## TOPICS

お客様のライフステージやライフイベントに応じた商品サービスを提供しています。

### 【家族信託口座の取り扱い開始】

高齢者ご本人が自身の財産管理が難しくなり、代わって家族などが財産管理を行うニーズが高まっています。2019年4月、相続・事業承継・認知症対策などに、資産の新しい託し方である家族信託口座の取り扱いを開始しました。



### 【フリー住宅ローンの取り扱い開始】

2019年3月、住宅ローンやマイカーローンなど複数のローンを1つにおまとめし「返済額の負担を軽減したい」というニーズにお応えするため、「フリー住宅ローン」の取り扱いを開始しました。





## さらなる発展へ向けて

少子高齢化やデジタル化など、大きく変化する社会環境に対応し、持続的に成長していくために、さまざまな取り組みを行っています。

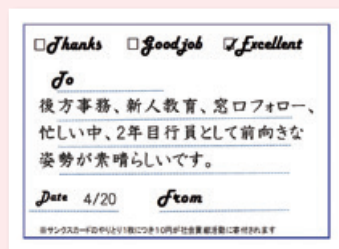


### 働き方改革に向けた取り組み

お客さまに付加価値の高いサービスを提供するため、能力開発やキャリア形成、ワークライフバランスの実現等、多様な人財が意欲を持って、いきいきと働ける環境整備を進めています。

#### ・サンクスカードの導入

2019年4月、行員同士の感謝・讃える気持ちを見える化するツール「サンクスカード」を導入しました。部署ごとに表彰を行うとともに、やり取りのあったカード枚数に応じた金額を社会貢献活動へ寄付します。



#### ・70歳までの継続雇用制度の導入

2018年7月より、65歳到達後も継続して働く意欲のある行員が豊富な知識と経験を活かし70歳まで勤務できる制度を導入しています。若手行員への指導職のほか、年金や相続・事業承継相談など個々の希望・能力に応じて活躍の場を提供しています。

#### ・男性行員の育児休業の取得促進

男性の育児参画推進に力を入れています。

2015年4月に育児休業の取得期間を「子供が満2歳年度末まで」とするなど制度の改定を行いました。

これまで対象者の8割が取得しており、2018年度は32名が取得しました。



### オムニチャネル化への取り組み

お客さまのニーズに応じて、“いつでも・どこでも・便利で安心・快適”なサービスをご利用いただけるよう、企業連携やデジタル技術を活用し、「オムニチャネル化」に取り組んでいます。

#### ・キャッシュレス決済への対応

キャッシュレス決済の普及は、生産性向上や経済成長のカギとなるものであり、当行においても、キャッシュレス化に対応する取り組みの一環として、フィンテック企業との協業・連携を推進しています。



#### ・次世代型店舗の展開

対話型カウンター等のデジタル技術を活用することで、お客さまの手続き負担を軽減し、ゆっくりご相談いただける「次世代型店舗」への取り組みを進めています。

2019年10月15日、鎌ヶ谷支店を次世代型店舗として（鎌ヶ谷市東鎌ヶ谷3-1-1）に新築移転します。



対話型カウンター



鎌ヶ谷支店完成予想図

### TOPICS

#### 品川支店を移転します!

2019年7月22日、品川支店をJR品川駅港南口側に移転します。

店舗設備を拡充することで、成長エリアでのさらなる営業力の強化を図ってまいります。



所在地:港区港南1-8-23 (Shinagawa HEART15階)

# 持続可能な社会を目指して

地域金融機関として、SDGsに向けた取り組みを通じ、持続可能な地域社会づくりに、より積極的に貢献しています。



## 千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト

2017年より、地域活性化と環境に貢献するため千葉大学環境ISO学生委員会と協同でecoプロジェクトを展開しています。

学生発案の環境貢献企画をもとに、地域の方々に対して、環境意識の啓発につながるイベント等の活動を行っています。



### スポーツを通じた次世代教育

2019年2月、「青少年の健全な育成」を目的として、当行野球部と船橋市内の少年野球チームとの合同練習を実施しました。

また、千葉県ユニセフ協会より「世界の遊び」の紹介を通して、世界の子供たちが置かれている現状について学ぶ機会を提供しました。



### 金融教育に関する出張授業の開催

中学校、高等学校の生徒を対象に銀行の社会的役割や経済の仕組みなど実社会で活かせる金融知識の啓蒙に努めています。

2019年1月に成田高等学校附属中学校、2月には専修大学松戸高等学校で出張授業を行いました。



### ショーウィンドーギャラリーの設置

「本店」および「千葉みなと本部」のショーウィンドーギャラリーでは、全国各地の伝統工芸品を紹介しています。

2019年度は訪日外国人観光客の方にも興味を持っていただけるような凧や鬼瓦などの作品を展示しています。



### 都市鉱山発掘プロジェクトの実施

当行の千葉市内10店舗に小型家電の回収ボックスを設置し、お客さまや行員から不要となった小型家電の回収・リサイクルを実施しました。

回収期間	2018年4月～2019年3月
回収状況	50.4kg(2019年3月31日時点)



### Chibaクリーンアクションの実施

地域住民と協同で環境保全のボランティア活動を行っています。2018年度は、館山沖ノ島を中心に活動するNPO法人が主催する海岸清掃や稚魚の保育場となる海草「アマモ」の再生プロジェクトに参加しました。



### 「エコアクション21」取得のコンサルティング

学生と連携してお取引先企業が環境認証である「エコアクション21」を取得できるようコンサルティングを実施しています。



2019年3月期の業績につきましては、預金および貸出金の残高は順調に増加しました。

収益面では、貸出金利息が10年ぶりに前期を上回るとともに、役員取引等利益の増加や経費の減少等により、本業による収益力を示すコア業務純益は3億59百万円増加し185億60百万円となり8年ぶりの増益となりました。

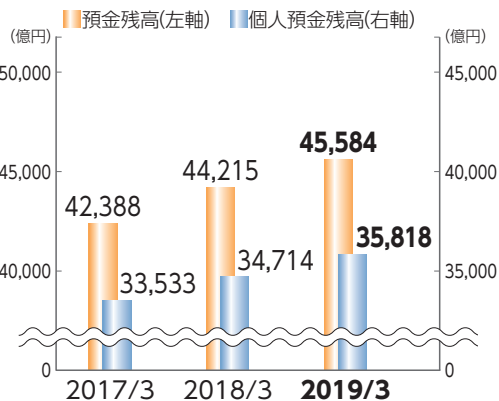
また、経常利益は153億26百万円、当期純利益は105億26百万円となりました。

※コア業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券損益

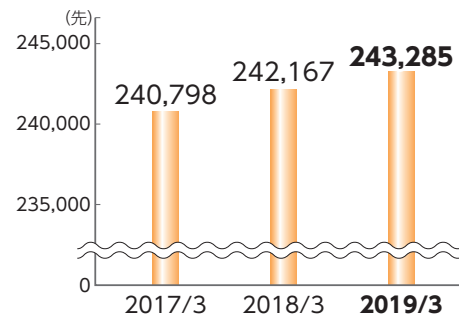
■預金残高・個人預金残高

**4兆5,584億円**  
(年間増加率3.0%)

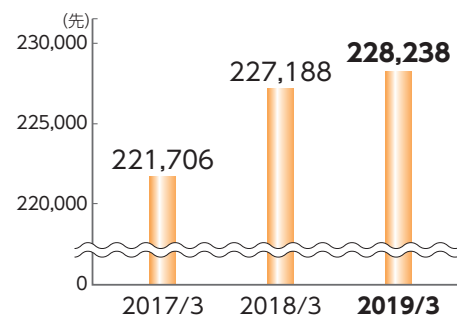
給与振込や年金振込の取引拡大等により預金残高は、前期比1,368億円増加し、4兆5,584億円(年間増加率3.0%)、個人預金残高は前期比1,103億円増加し、3兆5,818億円(年間増加率3.1%)となりました。



■給与振込指定先数



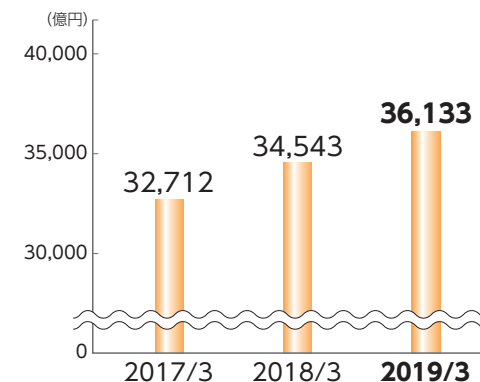
■年金受取指定先数



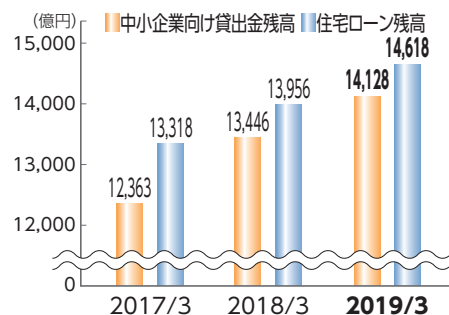
■貸出金残高

**3兆6,133億円**  
(年間増加率4.6%)

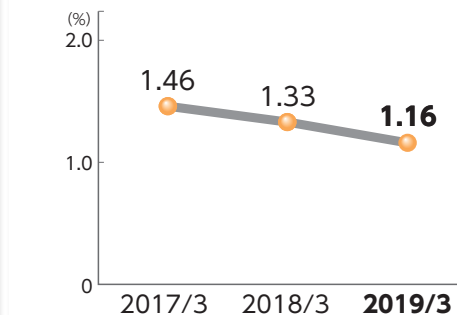
中小企業向けや、住宅ローンを中心とする個人向けの貸出推進に積極的に取り組んだ結果、前期比1,589億円増加し、3兆6,133億円(年間増加率4.6%)となりました。



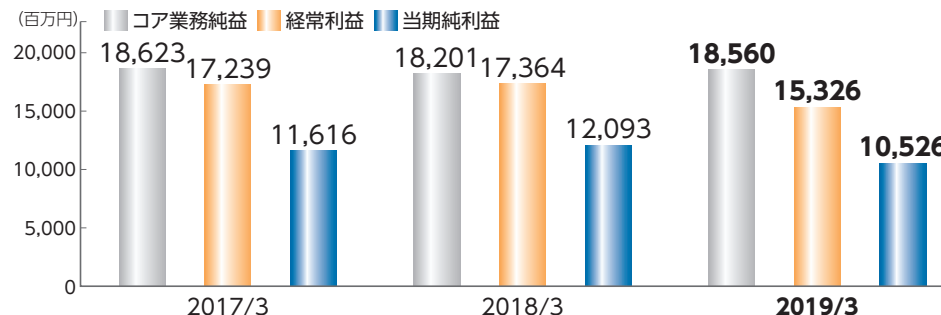
■中小企業向け貸出金残高・住宅ローン残高



■不良債権比率(金融再生法基準)



■コア業務純益・経常利益・当期純利益





■ 貸借対照表

（単位：百万円）

	第111期 (2017年3月31日現在)	第112期 (2018年3月31日現在)	第113期 (2019年3月31日現在)
<b>資産の部</b>	<b>4,595,149</b>	<b>4,785,243</b>	<b>4,890,752</b>
うち貸出金	3,271,223	3,454,364	3,613,361
うち有価証券	1,013,246	927,211	887,315
<b>資産の部合計</b>	<b>4,595,149</b>	<b>4,785,243</b>	<b>4,890,752</b>
<b>負債の部</b>	<b>4,313,268</b>	<b>4,494,165</b>	<b>4,598,835</b>
うち預金	4,238,842	4,421,556	4,558,429
<b>純資産の部</b>	<b>281,881</b>	<b>291,078</b>	<b>291,917</b>
うち株主資本合計	234,482	243,689	251,183
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>4,595,149</b>	<b>4,785,243</b>	<b>4,890,752</b>

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 損益計算書

（単位：百万円）

	第111期 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	第112期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	第113期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>経常収益</b>	<b>65,774</b>	<b>64,350</b>	<b>66,706</b>
うち資金運用収益	51,053	49,660	48,685
うち役務取引等収益	9,947	10,166	10,857
<b>経常費用</b>	<b>48,535</b>	<b>46,985</b>	<b>51,380</b>
<b>経常利益</b>	<b>17,239</b>	<b>17,364</b>	<b>15,326</b>
<b>特別損益</b>	<b>△553</b>	<b>△181</b>	<b>△238</b>
<b>法人税等合計</b>	<b>5,069</b>	<b>5,090</b>	<b>4,561</b>
<b>当期純利益</b>	<b>11,616</b>	<b>12,093</b>	<b>10,526</b>

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

（第113期 注記）

1. 1株当たり純資産額 2,209円20銭
2. 1株当たり当期純利益 79円76銭  
※2018年10月1日付で、普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っており、当事業年度の期首に株式併合が行われたと仮定して、算定しています。
3. 2019年3月末における単体と連結の総資産の差額は46億円と連結総資産4兆8,953億円の0.1%未満と軽微なため、単体のみ表示しています。

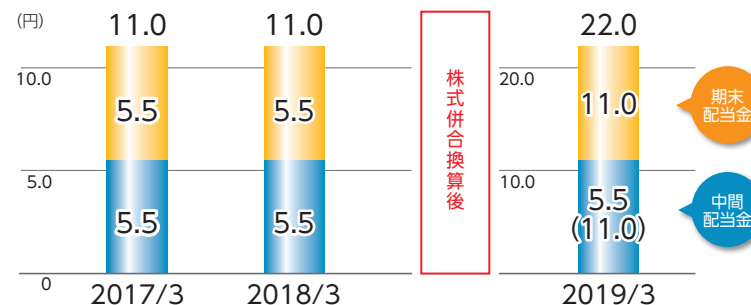
■ 単元株式数の変更および株式併合

2018年10月1日付で、当行普通株式の単元株式数を1,000株から100株へ変更しました。また、投資単位を全国証券取引所が望ましいとする水準(5万円以上50万円未満)に調整することを目的として、株式併合(2株を1株に併合)を行っています。

■ 年間配当金(1株当たり)

2019年3月期の1株当たりの期末配当金(株式併合後)は、当初計画通り、11円としました。

※株式併合を考慮しない場合、期末配当金は、1株当たり5円50銭(年間配当金11円)と、2018年5月9日に公表した配当予想に実質的な変更はありません。



※2019年3月期年間配当金については、10月1日付株式併合を反映して記載しております。

■ 自己株式の取得および消却

資本効率の向上により、株主の皆さまへの利益還元の実現を図るため、2019年5月10日開催の取締役会において、150万株の自己株式の取得を決議しました。また、5月31日に自己株式500万株の消却を実施しました。

■ 株主優待制度

日頃のご愛顧に感謝を込めて、株主優待制度をご用意しています。

**優待1**

**ギフトカードの贈呈**

●3月31日において1年以上継続して500株以上保有されている株主さまご本人

株主さまの保有株数に応じて年1回プレゼント!

- 500株以上 2,500株未満 … 1,000円相当
- 2,500株以上 5,000株未満 … 3,000円相当
- 5,000株以上 … 5,000円相当

**優待2**

**株主優待定期預金**

●500株以上保有されている株主さまご本人  
●お取扱期間は年2回

スーパー定期

店頭表示金利 **+年0.2%**

- 500株以上 5,000株未満 … 100万円まで
- 5,000株以上 … 200万円まで

満期前日にご解約された場合、当行所定の中途解約利率が適用されます。  
 ※2019年3月31日における株主さまを対象として実施される株主優待より、上記内容が適用されます。  
 ※くわしくはお近くの営業店、もしくは京葉銀行総務グループへお問い合わせください。  
 ☎0120-367-300 受付時間：月～金 9:00～17:00(祝日および12月31日～1月3日は除きます)

株式の状況 (2019年3月31日現在)

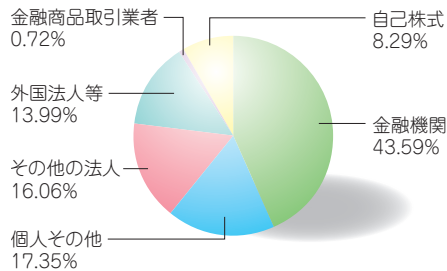
株式数  
 発行可能株式総数…………… 395,014千株  
 発行済株式の総数…………… 143,927千株  
 (注) 株式数は千株未満を切り捨てて表示しています。  
 ※2018年10月1日付で株式併合(2株を1株に併合)を実施いたしました。  
 株主数…………… 14,233名

大株主 (2019年3月31日現在)

氏名または名称	持株数等 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,288	6.27
株式会社千葉銀行	6,106	4.62
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,278	3.24
三井住友海上火災保険株式会社	3,759	2.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,589	2.71
住友生命保険相互会社	3,561	2.69
京葉銀行職員持株会	3,517	2.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,336	2.52
千葉県民共済生活協同組合	3,100	2.34
明治安田生命保険相互会社	2,969	2.24

(注) 1. 上記のほか、当行所有の自己株式11,923千株があります。  
 2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。  
 3. 持株比率は自己株式(11,923千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

株式の分布状況 (2019年3月31日現在)



株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株 ※2018年10月1日付で1,000株から100株へ変更しております。
公告方法	電子公告により当行ホームページに掲載します。 (ホームページアドレス <a href="https://www.keiyobank.co.jp/">https://www.keiyobank.co.jp/</a> ) ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 日本証券代行株式会社 本店
(郵送物送付先) お問い合わせ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎0120-707-843 特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでもお受けしています。 ホームページアドレス <a href="https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html">https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html</a> (一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます)

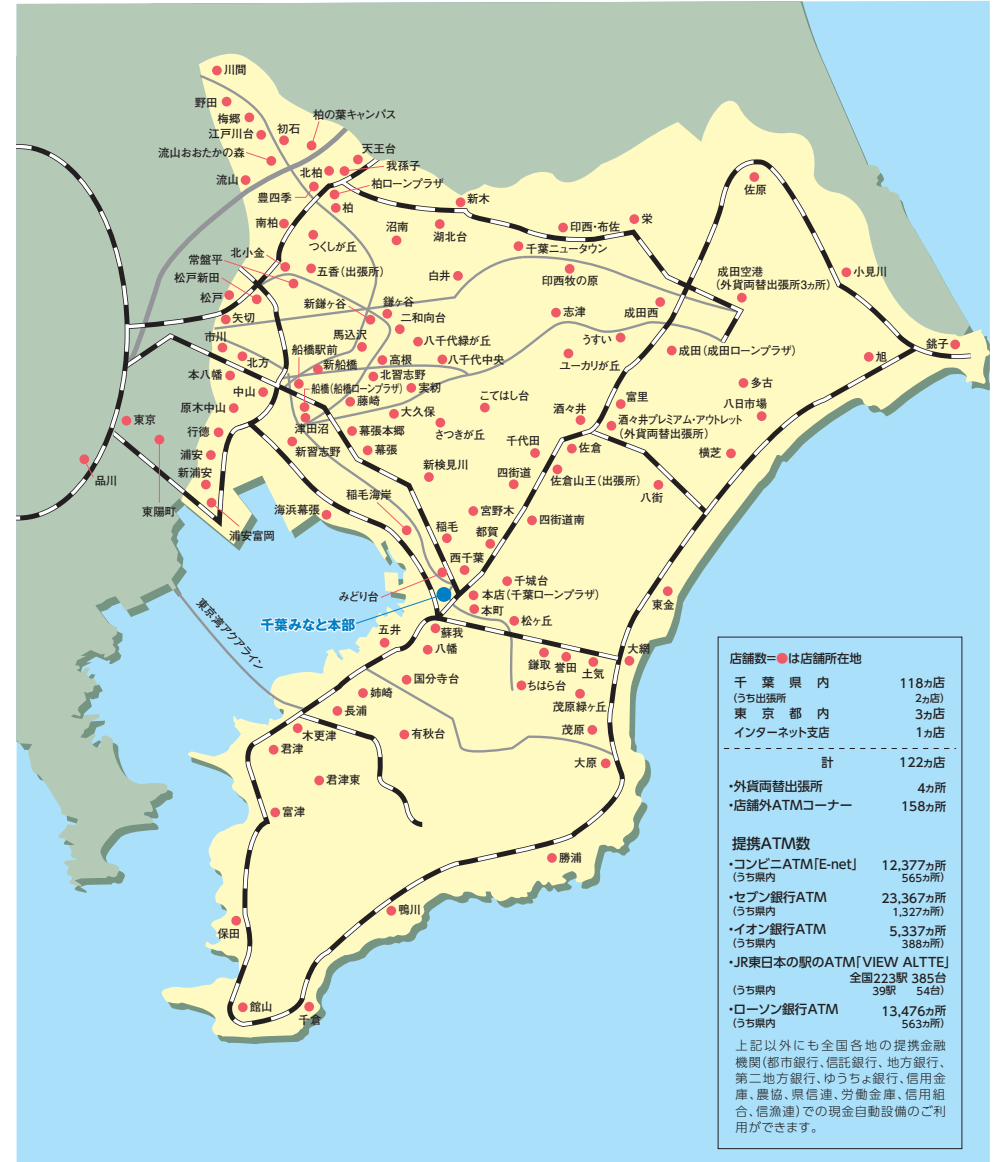
役員の状況 (2019年6月26日現在)

取締役

取締役頭取 (代表取締役) 熊谷 俊行	取締役副頭取 (代表取締役) 橋本 清	取締役 専務執行役員 大島 浩司
取締役 常務執行役員 君塚 一郎	取締役 常務執行役員 秋山 智	取締役 常務執行役員 市川 達史
社外取締役 齋藤 康	社外取締役 秋山 勝貞	社外取締役 内村 廣志

監査役

常勤監査役 深山 正嗣	常勤監査役 高橋 弘一	
社外監査役 小野 功	社外監査役 重田 雅行	社外監査役 花田 力



県内のバリアフリー施設を千葉県が紹介する「ちばバリアフリーマップ」に当行の店舗が掲載されています。 (2019年3月31日現在)

千葉県健康福祉部「ちばバリアフリーマップ」 <http://www.pref.chiba.lg.jp/pbbfmap/>